

こんにちは！ 地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、現在6名の協力隊が移住し、地域活動に関わっています。

こんにちは。昨年度は**地域おこし協力隊(以下、協力隊)**の皆さんの活動を定期的にお知らせできませんでしたので、主な活動を一挙にご紹介します。特技やノウハウを生かして奮闘している一般(地域づくり)隊員4名の活動になります。

活動紹介

福本 航
(1年目)



- ①34歳
- ②東京都より移住
- ③住まいは下ノ江

福本隊員は観光イベントや地域の催しに足を運び、動画を使った臼杵の情報発信を行いました。インバウンド向け動画、臼杵の漁業PR動画、台湾・スリランカ向けPR動画、季節もののイベント動画など合計51本の動画を制作しました。

また、自身と同様に動画を使って発信できる人材を多く育成するため、活動の合間を縫って臼杵の資源を活用した「動画の作り方教室」を開催しています。



<スリランカ向け臼杵PR動画>



<台湾向け臼杵PR動画>



<ふるさと納税PR臼杵ふぐ動画>

今年にはキャンディ市(スリランカ)との姉妹都市提携から50周年の記念の年。この記念の取組のひとつとして、昨年12月末、立命館アジア太平洋大学(別府市)に在籍するスリランカの女性留学生4人が「うすきぶらぶら女子旅」と題して来臼。風連鍾乳洞、国宝臼杵石仏、城下町等の市内散策や農泊体験を楽しんでくれました。この様子を地域おこし協力隊の福本隊員が撮影し、留学生が撮影した画像と合わせて編集して臼杵市PR動画を作成しました。ぜひご覧ください！

* 福本隊員の動画は以下から閲覧できます。(「フクモトワタル」で検索)

<https://www.youtube.com/channel/UCq7kqptY6cms-oWaxFsR2gw>

山岡 奈々子
(2年目)



- ①27歳
- ②大阪府出身
- ③住まいは新地

山岡隊員は美術・工芸の教員免許を有し、美術科目の専門教諭がない小規模校(豊洋中・南中)での学習サポーター、イラスト・ポスター・チラシ・キャラクター・ロゴマークなどのデザイン業務、子ども向けのワークショップ開催などに取り組みました。

また、月1回の「ぴんころ朝市」のサポート、臼杵焼きプロジェクトへの協力など地域振興にも積極的に関わりました。



<美術科目の学習サポーター>



<ぴんころ朝市のサポート>



<子ども向けワークショップ開催>

昨年度は豊洋中学校は閉校となる最後の年。生徒の皆さんからの寄せ書きでは、「色々な技法を学べた」、「美術があまり好きではなかったけどとても楽しかった」、「絵が少し上手になった」と嬉しいメッセージをたくさんもらいました。この美術の楽しさをいつまでも覚えてほしいものです。卒業生と共に歩んだ一年間は「普通の学校では出来ないような遊びと学びの授業を展開できた。」と山岡隊員にとっても充実した一年となったようです。



石橋 浩二
(3年目)



- ①46歳
- ②神奈川県出身
- ③住まいは港町

卒業

石橋隊員は前職のシステムエンジニアの経験、ITやマーケティングのノウハウを生かし、スマートフォンを活用したゲーム性の高いイベントの開催、「サーラ・デ・うすき」の施設管理やリノベーションなどにも関わりました。また、市外の地域おこし協力隊からの相談に応じたり、市外のイベントにも関わったりと幅広く活動し、他市の協力隊研修に講師として呼ばれるなど九州内の協力隊員から信頼されていました。



<お八栄ちゃん救出作戦>



<豊洋中宝探しゲームin黒島>



「サーラ」の→
視察対応

←企業向け
スマホイベント



<竹青での地域活動>

任期3年間でスマートフォンを活用したイベントを13回開催しました。このイベントを通じて、黒島や商店街の活性化を考えました。参加者がスマホを携帯して商店街を回遊することで経済効果も出そうという取組については、NHK大分放送局の「しんけんワイド大分」等でも紹介されました。

* 石橋さんは臼杵での起業に向けて準備を進めています。

吉澤 太郎
(3年目)



- ①29歳
- ②東京都出身
- ③住まいは末広

卒業

吉澤隊員は東京都出身という都市部からの視点で、移住フェア等での相談対応、移住希望者向けモニタツアーでのサポートなど移住支援業務で活躍しました。そのほか、地域振興協議会と小学校がAPU(立命館アジア太平洋大学)留学生と交流を図るという地域の国際交流企画も実施しました。

また、住まいでもある「コミュニティハウス A・KA・RI」を地域住民や移住者等の交流の場、上北小学校の子ども連絡所として賑やかに運営してくれました。



<APU留学生と地域の国際交流>



<トークイベント「How's Life」開催>



<移住フェア&移住相談会>

吉澤隊員自身がAPU(立命館アジア太平洋大学)出身ということもあり、この企画が実現しました。年3回の交流は小学生にとっても貴重な経験になりました。

都市部で開催する移住フェアや移住相談会においては、自らの経験から、相談者のニーズに合った丁寧な対応を心掛けてくれました。

* 吉澤さんは大分市の不動産会社に広報担当として勤務することになりました。

【活動報告会&壮行会】

3月22日には、地域おこし協力隊の活動報告会と、任期満了となる石橋隊員・吉澤隊員の壮行会を開催しました。二人は「今後も臼杵のために貢献したい。」と涙ながらに語ってくれました。

